

5/31 Hirado City Photo News  
お金のことを楽しく学んで

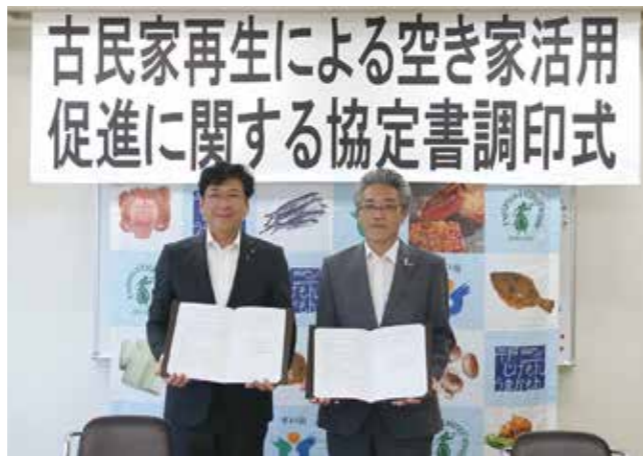


平戸商工会議所青年部(大畑俊介会長)から絵本「おかねってなあに?」50冊が市内の小学校と図書館に寄贈されました。

絵本は日本商工会議所青年部が製作。日本初の商工会議所である東京商工会議所の設立に携わり、初代会頭となった実業家・渋沢栄一の功績を題材に、楽しくお金について学べる内容になっています。

寄贈した平戸商工会議所青年部の大畑会長は「使う・貯める・稼ぐ・働かせるというお金の使い道について学んでほしい」と話しました。

5/31 Hirado City Photo News  
空き家問題の解決のために



平戸市役所で、一般社団法人古民家再生協会長崎との「古民家再生による空き家活用促進に関する協定書」調印式が行われました。今後は、古民家再生協会長崎が建築業者や不動産業者などで組織する団体を結成し、空き家の改修などを通じて地域の活性化を図っていきます。

調印式で古民家再生協会長崎の福田敏幸代表理事は「空き家を利活用し地域を盛り上げたい。県北地域の要である平戸をきっかけに取り組みを広げたい」と話しました。

6/20 Hirado City Photo News  
いつ起こるかわからない大規模災害を想定して



旧根獅子小学校跡地で、令和3年度平戸市総合防災訓練が行われました。訓練には、市や消防、警察、自衛隊をはじめ、消防団や中部地区の自主防災組織など関係団体が参加。

訓練では、関係機関による被害状況の情報伝達訓練や土砂災害による倒壊家屋・車輛からの救助訓練、災害ボランティアセンター設置運営訓練、河川氾濫による要救助者救出訓練などが行われました。梅雨時期とは思えないほどの好天の中、有事の際の関係機関の連携を確認しました。



6/19~20 Hirado City Photo News  
金賞のお酒を求めて



福田酒造で蔵開きが行われました。天候にも恵まれ、平戸の地酒を求める人たちにでぎわいました。

参加者は、酒蔵の見学のほか、全国新酒鑑評会で最高賞の金賞、インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)でSAKE部門シルバー賞を受賞した「長崎美人 大吟醸」、同じくIWCでSAKE部門シルバー賞を受賞した「福田 純米大吟醸 山田錦」などの試飲や、原酒の限定品の販売、酒粕のプレゼントなど、伝統のお酒を余すところなく楽しんでいました。

6/6 Hirado City Photo News  
平戸の美しい海を守るために



NPO法人ひらど海てらす主催(共催:平戸たつのおとしご隊)の「きれいな海を守ろう楽しく海岸清掃&アート教室」が行われ、市内外から親子連れなど約50人が参加しました。

午前中は、平戸大橋公園付近の海岸を清掃。発泡スチロールやペットボトル、漁網など多種多様なごみ流れ着いていました。午後からは、長崎市野母崎在住の菅原真希さんを講師に迎え、流木とゴムを使った楽器やごみの不法投棄防止の看板を作成しました。

5/29 Hirado City Photo News  
按針の偉業をしのいで



崎方公園の墓碑前にて、三浦按針(ウィリアム・アダムス)をしのぶ「第26回按針忌」(国際交流HIRAの会主催)が開催されました。

三浦按針は江戸時代、徳川家康の外交顧問として、西洋の天文学、造船術、航海術などを日本に紹介。平戸にイギリス商館やオランダ商館を設置し、海外との交易の礎を築きました。その多大な功績をたたえ、約40人の関係者が、墓前に献花を行ったほか、三浦按針没後400年事業で制作された紙芝居「あんじんの冒険」が上演されました。

5/27 Hirado City Photo News  
平戸の介護を担う人材を激励



平戸市役所市長室において、平戸市介護職人材確保支援事業賞賜金交付式が行われ、4月から特別養護老人ホーム田平ホームに勤務する西山沙和さん、野元玲奈さんに市長から賞賜金が交付されました。

この事業は、満25歳以下で介護職として就職した人に激励の意を込めて賞賜金を交付するもので、通算で12回目となります。

交付を受けた野元さんは「利用者の皆さんに笑顔になってもらえるような介護福祉士になりたい」と抱負を述べました。